

女性活躍推進フォーラム 第2回

「得意の敏感さ生かして」 マルハン渋谷恵香氏が「先輩講演」

人材育成委員会主催の今年度第2回「女性活躍推進フォーラム」が11月13日、東京・日本橋三洋グループビル8階の会議室で開かれた。前回フォーラム(9月11日)に

引き続き、ホール企業を中心に女性正規社員20人(1社1人)が参加した。

「朝ドラの主人公はなぜ」

冒頭、人材育成委員会担当理事の谷口久徳日遊協副会長が、「今、NHKの朝ドラは『あさが来た』ですが、なぜ朝ドラに女性の主人公が多いのでしょうか。歴代の朝ドラで男性の主人公は6人くらいしかいませんでした。つまり女性の生き方、考え方、人生はそれだけ魅力があるのだと思いました。そういう中で皆さんがこれから業界内外で素晴らしい人生を過ごしていただくためにも、このフォーラムでしっかりと議論をし、企画を出していただきたい。委員会もしっかりと皆様をフォローします」とあいさつした。

「活躍推進」に甘えない

先ず、先輩社員の業界経験講演として、(株)マルハン人材開発部採

用育成担当チーフ、渋谷恵香氏がスピーチした。渋谷氏はマネージャー、店長の経験者。マネージャーや店長として場面、場面

で意識したスタッフへの心遣い、店長への昇格に際して結婚・出産など自身の「ライフイベント」の兼ね合いで悩んだ話など、女性の管理職ならではの体験を親しみやすい語り口で披露した。「女性は小さなこと、細かいことに気づける。男性は相手が髪型を変えても気づかないが、女性ってそういうことに敏感です。それをどういうところで生かすか。接客サービスや、一緒に働くスタッフのモチベーションを上げてあげるには絶対に女性のほうが得意だと思います」と述べた。

また、業界で女性社員がキャリアを積んでいく上での心構えとして、「みんなが『女性の活躍推進』と言っているからといって、そこに甘えるのだけはやめてほしい。変な甘えを出してしまうと周りの男性社員は心から応援できなくなる。頑張っている姿を見ているか

いろいろな色彩の布を使って、似合うか似合わないかを実験する三浦氏



グループディスカッションには、人材育成委員会の委員も加わってサポートした

らこそ周囲も応援したくなる。自分がキャリアアップしたい理由を明確にし、覚悟を持って頑張り、

その上でキャリアアップが実現すれば自信につながります」とエールを送った。

三浦まゆみ氏も講演

「色が第一印象を決める」

次いで、実務の後押し企画としてカラーコンサルタント／キャリアアコンサルタントの三浦まゆみ氏が「売上をアップするための色彩

心理セミナー」と題して講演した。三浦氏は、「人は色を見ると必ず何かを感じます。人も商品も店も、売れるか売れないかは第一印象で決まりますが、その第一印象は色が決め手になります」と説明した。

例えば、人には似合う色と似合わない色があるが、それはその人の色素によって決まるし、目力が

あるのか、やさしい瞳なのか、キラキラ目なのかという条件でも違ってくる。その見え方の違いについて、「似合う色を着ると顔色がよく、肌がきれいに見える。生き生きと映るし、全身で馴染んで見える。似合わない色を着ると顔色が悪く、肌のトラブルが目立つし、暗く疲れた感じになる」という。

三浦氏は、色が心や体に与える効果を知っておくことの大切さを述べ、いい空間(店舗)の演出には色彩心理の活用を、好印象に見えるためには似合う色を活用した服装をと強調した。

次回発表、役職者を招待

このあとグループディスカッションに移った。前回割り振られた2つのテーマ(「キャリアアッププランニング」「ワークライフバランス」)に沿い、5グループが企画の練り上げ作業を行った。作業には人材育成委員会の委員たちも同じチームの意識でサポートした。

第10回遊技産業新経営者会議(担当理事・韓裕副会長、リーダー・西村拓郎理事・東京都・関東支部長)が11月10日、東京・日本橋三洋グループビルの8階会議室で開かれた。日遊協会員企業(ホール、メーカー、販社、設備機器など)の若手経営者・幹部39人が出席し、講演とディスカッションが行われた。

冒頭、韓副会長が「業界は今、遊技くぎをはじめいくつもの厳しい問題にさらされている。課題を一つ一つ解決して、新たな生き残りの道を自らが構築して行かなければならない」という認識を持っている」とあいさつした。

遊技産業新経営者会議

篠原菊紀教授が「脳」講演

講演は「パチンコ・パチスロを世のため人のために役立てる」脳から見たパチ・スロ演出の基礎と高割数営業の意味を添えて」と題して、諏訪東京理科大学教授、篠原菊紀氏(日遊協理事)が行った。

同氏は脳科学からのアプローチで、パチンコ、パチスロによるトレーニングが中高年の認知機能低下予防に役立つことを証明し、ホールは健康教育拠点化しうるし、そうしていくことが高齢化するユーザーへの対応法の1つになると強調



篠原教授(左)の講演を聴く新経営者会議の出席者たち

した。

講演のあと、「遊技業界の諸問題について」のテーマで、6班に分かれてディスカッションが行われた。最後に場所を変えて懇親会が開かれ、出席者たちは業種や企業の壁を越えて親交を深めた。

内容は各社の人事部長、総務部長らの幹部クラスを招待し、発表を聴いてもらうことを予定している。

最後に場所を変えて交流会が開かれ、参加者たちはにぎやかに歓談する中でネットワークづくりを励んだ。